

福田紀彦の公約に対する第三者評価 Part.1 早稲田大学マニフェスト研究所

・評価基準については、成果・提言や一般質問などの議会活動を重点に評価。  
 ・評価点数については、成果:30点満点 取り組み:70点満点（取り組みの配点内訳は、議員:40点・所属会派:30点）。  
 ・合計とは、各項目を加点した合計点のことを指す。  
 A = 大きく評価できる B = 評価できる C = 多少評価できる D = あまり評価できない E = 評価できない

1, 教育刷新 ~ 情報や施設をオープンにし、みんなで守り、育てる学校に。地域運営学校の推進、基礎学力の向上で公立学校を再生~

		A	B	C	D	E	得点	
成果							18	
議員	質問（一般質問・委員会質問）						10	
	提言（議員提案条例・発議等）						6	
	取組姿勢						10	
	説明責任						10	
会派	代表質問						4	
	提言（予算提言・意見書等）						10	
	部会・政調						8	
【講評】								
福田議員は、イジメや不登校を防止するため、子供たちのコミュニケーション能力を向上させる教育改革を公約に掲げた。議会では継続的に子どものコミュニケーション能力向上のための推進策を提案し、地域一体型のコミュニティスクールの設置も提言している。また、会派としても、県と一体となった推進策を掲げ、公約実現に向けた確かな取組と成果が見られる。県内のコミュニティスクールは2年間で指定校5校、地域運営型の県立高校は3校増えている。							合計	76
【コメント】								
議員・会派・県としてコミュニティスクールの設置を推進中。政策によるいじめ・不登校減少の成果に期待。								

2, 安全・安心 ~ 自主防犯グループの継続的な活動をサポート・警察との連携強化で犯罪発生を抑止~

		A	B	C	D	E	得点	
成果							30	
議員	質問（一般質問・委員会質問）						10	
	提言（議員提案条例・発議等）						4	
	取組姿勢						10	
	説明責任						10	
会派	代表質問						4	
	提言（予算提言・意見書等）						6	
	部会・政調						6	
【講評】								
福田議員は、神奈川県警の質向上と、地域・学校・警察との連携強化、都道府県を超えた広域的な防災の連携を公約した。議会においては質問等を通じ、継続的に犯罪抑止の関連提案を続けた。県の取組みとしては、2年間で県全体で自主防犯組織が800団体近く増加したこと、刑法犯の認知件数が約1万件減ったことに大きな成果が見られ、福田議員をはじめとする県議会、松沢知事の犯罪抑止に対する政治的リーダーシップが特筆できる。							合計	80
【コメント】								
知事と議会の政治的リーダーシップで県内犯罪件数は確実に減少へ。自主防犯組織は飛躍的に増加。								

3, がん対策 ~ がんにならない、負けないために、検診率のアップを推進・県立がんセンターの機能強化と地域医療との連携を推進

		A	B	C	D	E	得点	
成果							30	
議員	質問（一般質問・委員会質問）						10	
	提言（議員提案条例・発議等）						4	
	取組姿勢						10	
	説明責任						10	
会派	代表質問						4	
	提言（予算提言・意見書等）						6	
	部会・政調						6	
【講評】								
2年間の福田議員の活動で、がん対策は個別具体的な政策として最も評価できる取組み。福田議員個人としては、県立がんセンターの再整備について繰り返し議会で提案するだけでなく、乳がん検診を啓発するピンクリボン運動(J-POSH)と県を仲介し、マンモグラフィを搭載した検診バスの本格運用に大きく寄与した。県議会では「神奈川県がん克服条例」を議員立法で成立させ、福田議員も条例制定に政策面で積極的に関わった。重粒子線治療装置の導入や地域がん診療拠点病院数は確実に増加したが、がん検診の検診率が2年前とほとんど変わらないのが課題。これに対し福田議員は、県と共に検診率の数値目標の設定に取り組んでいる。今後の検診率アップに期待したい。							合計	80
【コメント】								
福田議員の議会内外の活動で神奈川県のがん対策が大きく推進。県議会ではガン対策条例を制定。								

4, 環境立県 ~ 新エネルギーの導入促進策・CO2の排出抑制の広域的な取組みを推進 ~							
成果	A	B	C	D	E	得点	
議員	質問(一般質問・委員会質問)					24	
	提言(議員提案条例・発議等)					10	
	取組姿勢					10	
	説明責任					10	
会派	代表質問					6	
	提言(予算提言・意見書等)					6	
	部会・政調					6	
【講評】							
<p>環境への取組みも福田議員の評価が高い項目の1つ。環境保全の実践キャンペーン(マイアジェンダ)の更なる推進に努めることを公約した福田議員は、ノーベル平和賞受賞者のマータイ女史が提唱する“もったいない運動”と連携し「もったいない、バージョン」を作成した。結果、2年間で登録者数が個人で約2万人、団体で3000団体増えたことに大きく寄与した。電気自動車の普及についても議会で継続して取り上げ、神奈川県では全国でも先進的に独自の電気自動車導入補助金などを導入している。松沢知事との環境対策における有機的な政策提携が確実な取組みへと広がっている。</p>						合計	82
【コメント】							
継続的な議会活動で県独自の環境対策が始動。温暖化対策先進県へ「待たなし」の取組みを期待。							

5, しごと応援							
成果	A	B	C	D	E	得点	
議員	質問(一般質問・委員会質問)					24	
	提言(議員提案条例・発議等)					10	
	取組姿勢					6	
	説明責任					10	
会派	代表質問					10	
	提言(予算提言・意見書等)					6	
	部会・政調					6	
【講評】							
<p>福田議員は、中高年の一層の雇用促進に向けた助成制度の改善の提案、子育て支援の促進策、若者就職支援センターの更なる効果的な活用などを公約し、一般質問、委員会質問、会派としては代表質問等で継続的に提案を行った。自らも子育て世代であることから、特に仕事と子育ての両立、雇用の悩みについての取組みを中心に質問を行っており、県全体では、子育て応援団認証企業が1年間で70企業増加し、21年度からは事業所内保育施設への助成金制度(最大1000万円)を開始している。</p>						合計	82
【コメント】							
子育て世代の代表者として、仕事と子育ての両立策を議員の立場から提案中。補助制度のフル活用と抜本的な解決策の検討で今後の成果が問われる。							

6, 道州制 ~ 県の仕事を広域的なものに絞込み、市町村への更なる権限、財源を移譲 ~							
成果	A	B	C	D	E	得点	
議員	質問(一般質問・委員会質問)					18	
	提言(議員提案条例・発議等)					10	
	取組姿勢					8	
	説明責任					10	
会派	代表質問					10	
	提言(予算提言・意見書等)					10	
	部会・政調					6	
【講評】							
<p>福田議員は道州制を見据えて、県から市町村への権限、財源移譲を進めることを公約し、議会では川崎市をあげめとする基礎自治体への権限移譲、松沢知事に対し自治体の自主自立を強化する取組みについて継続的に提言・質問を行った。政令指定都市である川崎市選出の県議会議員として、道州制移行へのメリット・デメリットを街頭や政策ビラ等で市民等に説明し、会派としては国の出先機関の抜本的見直し、大幅な税源移譲を国に訴えている。神奈川県としては2年間で約200件の権限移譲を市町村に対し行っている。</p>						合計	82
【コメント】							
自立した真の分権社会に向けて、国からの自立、県から市への権限移譲、市民への説明責任を三位一体で取り組んでいる。県議として川崎市の基礎自治体としての権限強化に寄与している。							

7, 議会改革 ~ 議会の公開性・透明性を高めていくため、遅れている議会の情報公開を推進・政務調査費の使途の明確化・公開の							
成果	A	B	C	D	E	得点	
議員	質問(一般質問・委員会質問)					30	
	提言(議員提案条例・発議等)					10	
	取組姿勢					10	
	説明責任					10	
会派	代表質問					10	
	提言(予算提言・意見書等)					10	
	部会・政調					8	
【講評】							
<p>福田議員の2年間で最も大きな成果は神奈川県議会改革への取組みであり、この活躍は1議員としても全国でトップクラスと言える。福田議員は会派を代表して、「議会改革検討会議」の委員となり、多くの批判を浴びていた政務調査費使徒の1円公開を率先して実現させた。また、「議会基本条例調査特別委員会」の委員として、議会改革の礎となる議会基本条例の作成、制定に係り、全国都道府県で3番目となる条例の制定に尽力した。最も特筆すべきは地方議員の立法能力の向上をねらい、会派内に政策法務学校「地方議員のロースクール」を全国で初めて設置し、その責任者として立法作業に携わっていることである。福田議員は県民の民意を条例を立法するかたちで反映させる県議会の政策実現サイクルを確立した立役者の1人であった。</p>						合計	98
【コメント】							
紛れもなく全国でトップクラスの「議会改革者」。まさにローメーカーたるんとする政治姿勢と取組みに高い評価。常に改革する議会として、永続性の担保が問われる。							

福田紀彦の公約に対する第三者評価 Part.2 カナタイ編集部

- ・評価基準については、住民要望・説明責任といった住民の実感を重点に評価。
- ・評価点数については、1項目につき、5点満点
- ・合計とは、各項目を加点し、項目数で割った点数のことを指す。  
A(5点) = 非常に評価できる B(4点) = 評価できる C(3点) = 多少評価できる  
D(2点) = あまり評価できない E(1点) = 全く評価できない

1, 教育刷新

	A	B	C	D	E	得点
住民要望						4
取り組み						3
制度的成果						3
数字的成果						3
県民への説明責任						3
小計						16
合計						3.2

【講評】

この2年間で、中高一貫校が開校したり、学校改善に努める体制を整備した「県検証改善会議」といった新たな取り組みを始めており、教育刷新に向けた非常に大きな一歩である。ただ、公約にも記載されているように、今後は子供のコミュニケーション能力向上させる教育を行うための根本的な取り組みに期待し、数字的にも制度的にも成果を上げていただきたい。

評価

3

【コメント】

様々な角度から教育刷新に向けた施策を実行中。ただ、始まったばかりで多少の成果は表れているが、何とも言えない。今後は大胆な教育改革に期待。

2, 安全・安心

	A	B	C	D	E	得点
住民要望						5
取り組み						2
制度的成果						2
数字的成果						3
県民への説明責任						2
小計						14
合計						2.8

【講評】

全国初の犯罪被害者支援条例制定に福田議員が尽力したことや各種助成といった取り組みなど一定の評価が出来る。自主防犯組織数や助成金の受給団体総数などは着実に増加しており、結果的に刑法犯の認知数も約1万件減少した。評価2.5としては、中長期的な施策が少ないことや取り組みが住民の要望のラインまで近づいていないような気がする。今後は前述したことや自主防犯組織の質をいかに向上させるかが課題であると考え。県民からの期待が大きい分、厳しい評価になってしまった。

評価

2.5

【コメント】

福田議員が尽力した県独自の条例や数字的な成果は表れているものの、安全・安心は県民の願いであり、さらにキメ細かな施策に取り組んでもらいたい。今後の取り組みに注目である。

3, がん対策

	A	B	C	D	E	得点
住民要望						4
取り組み						5
制度的成果						5
数字的成果						3
県民への説明責任						4
小計						21
合計						4.2

【講評】

「神奈川県がん克服条例」を議員提案条例で成立させ、乳がん対策としてピンクリボン運動の支援をし、検診バス導入のきっかけを作ったりと、制度的な成果・取り組みについては、評価5に値する。特に賛否両論の「受動喫煙防止条例」についても、厚生常任委員として成立に向け奔走したり、福田議員の広報誌「Kanagawa Times」で乳がんについて特集を組んだりと積極的に県民に対し、説明責任を果たしている。評価4の理由であるが、検診率において一部を除き改善傾向が見られないことから、今後のさらなる発展を願って判断した。

評価

4

【コメント】

がん検診率を除いては、検診バス導入や県独自の条例などの施策により、がん対策の成果が表れている。特に福田議員の議会内外の活動による尽力が大きい。

4, 環境立県						
	A	B	C	D	E	得点
住民要望						4
取り組み						3
制度的成果						4
数字的成果						4
県民への説明責任						3
小計						18
合計						3.6
【講評】						
<p>福田議員提案の「環境保全実践キャンペーン」の登録数は順調に伸び続け、一定の成果を出し続けている。一方で県内CO2排出量が増えている中で、どのように県民と一体化した対策を行っていくかに注目が集まる。評価を3.5とした理由としては、6月定例会での成立を目指している「地球温暖化対策推進条例」や「電気自動車普及プロジェクト」の推進が現在行われ、基本的な部分はできあがりつつあることを考慮した。今後の動向に注目である。</p>					評価	3.5
【コメント】						
<p>環境対策についての下地は、福田議員提案のマイアジェンダや県独自の条例に見られるように整いつつある。今後2年間の取り組みが県の今後を左右する。県民・県との協働施策に期待。</p>						

5, しごと応援						
	A	B	C	D	E	得点
住民要望						5
取り組み						3
制度的成果						3
数字的成果						3
県民への説明責任						3
小計						17
合計						3.4
【講評】						
<p>「神奈川県子ども・子育て支援推進条例」の成立、各種助成や就職支援といった制度的な環境は整いつつある。しかし、この未曾有の経済危機、超高齢社会を前に、さらなる大胆な施策が必要。今後は、より多く導入・利用してもらうための方策、制度について県民へ発信することが、課題。</p>					評価	3
【コメント】						
<p>制度的な環境は整いつつある。今後は多くの導入・利用してもらうための方策、この未曾有の経済危機を乗り越えるための施策が課題。</p>						

6, 道州制						
	A	B	C	D	E	得点
住民要望						3
取り組み						4
制度的成果						2
数字的成果						4
県民への説明責任						2
小計						15
合計						3
【講評】						
<p>県の合併推進審議会の委員を務めていることや数字的な成果(権限委譲に関して)は表れているので、道州制について前向きに取り組んでいることがわかる。ただ、道州制は中長期的なテーマかつ国レベルとの問題なので、未だに県民の理解は乏しいと思われる。県民に対し、道州制をすることにより、県民生活がどのようなか、どのようにかわるか、という発信をすることが今後の課題である。ぜひ、神奈川から県民意識を高め、道州制の機運を全国に波及してもらいたい。</p>					評価	3
【コメント】						
<p>権限委譲も積極的に行い、委員としての取り組みも前向き。今後は県民に対し道州制について、いかに理解してもらうか、が課題。</p>						

7, 議会改革						
	A	B	C	D	E	得点
住民要望						5
取り組み						5
制度的成果						5
数字的成果						5
県民への説明責任						4
小計						24
合計						4.8
【講評】						
<p>福田議員が会派を代表して積極的に政務調査費の公開性・透明性の確保を主張した結果、1円公開に結びついた。また、率先して自身のHPにおいても政治資金の公開を当初から現在まで行っている。そして、委員として参画した「議会基本条例」や会派内においての政策法務学校「地方議員のロースクール」といった議会改革に取組み、制度的な成果を非常に上げている。ここまで政策本位の議会改革を行っている議員は非常に珍しく、今後は、県民に広く理解してもらうために上記のような取組みを積極的に説明してもらいたい。</p>					評価	5
【コメント】						
<p>田議員自身の政治資金公開や政務調査費1円公開などを実現。また政策力を鍛えるための施策(政策法務ロースクール)に尽力。取組みに非常に熱心で、議会を政策本意に変えようとしている。</p>						